



実践団体情報 (1 団体あたり 1 回だけ記入する内容です)

必要に応じてセル (表の枠) の高さを調整していただいて構いません

記入日	西暦 2021 年 1 月 5 日 (20 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
代表者名	校長 永井 和弘
プラン全体のタイトル 内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	金栄小学校災害タイムライン ～My タイムラインの実行と避難率向上を目指せ～
電話番号	0897-37-2313
メールアドレス	n12233@city.niihama.lg.jp
実践団体の説明 団体の来歴や特徴などを書いてください	平成 16 年豪雨災害の土砂災害や浸水被害などの被災経験から、毎年 5 年生が防災に関するテーマを定め、防災学習に取り組んでいる。 過去に防災科学技術研究所が開催した e 防災マップ部門で 2 年連続最優秀賞を受賞した。
所属メンバー 団体のメンバーについてお名前やご所属、役割などを差し支えない範囲で書いてください	担当：新居浜市市民環境部 危機管理課 主幹 高橋直樹 5
活動地域 〇〇地方・〇〇校区など活動地域の範囲に合わせて記載してください。活動範囲が小さい場合には都道府県名など場所が特定できる情報を入れてください	新居浜市金栄校区
活動開始時期・結成時期	2008 年
過去の活動履歴・受賞歴 これまで行ってきた活動や受賞歴 (チャレンジプラン以外も含む) をご記入ください	2014・2015 年 e 防災マップ最優秀賞受賞 2015 年 地区防災計画モデル地区

プラン全体の概要	- 毎年小学5年生が1年間を通じて防災学習を実施し、命を守る行動などの防災力向上を目的としている。 - 今年度は、コロナ禍のため住民が集う機会がなかったため、地域防災新聞を作成して、地域住民に対し回覧を行い、防災学習などから学んだことを伝える。 - 児童及び保護者に対して、防災アンケートを実施し、1年間学んだ防災学習の成果を今後の防災学習に繋げる。
----------	---



プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4 月			
5 月	年間計画立案		
6 月	関係機関との協議	防災学習打合せ	
7 月	関係機関との協議	防災学習打合せ	防災アンケート
8 月	防災学習		過去の災害について
9 月		まちあるき打合せ	防災力を高めよう 防災タイムラインについて
10 月	防災学習 防災まちあるき		防災マップについて まちあるき まちあるき結果整理 防災アンケート
11 月	防災学習	防災学習発表会打合せ	防災マップ作製 地域防災新聞作製
12 月	防災学習	防災学習発表会打合せ	防災マップ作製 地域防災新聞作成
1 月	防災学習		防災学習発表会準備 防災学習発表会
2 月	防災学習		防災学習取りまとめ 防災アンケート
3 月	まとめ 次年度計画立案		



プラン全体の反省点・課題・感想	新型コロナウイルス感染防止に伴い、年度初めから臨時休校となり、授業に遅れが生じました。このことから、防災学習より通常の授業を優先し、授業の遅れを取り戻すこととしました。 1学期の防災学習は断念し、2学期からスタートを切り、学校と調整しながら例年どおりの防災学習を進めましたが、ソーシャルディスタンスなど、様々な制約があるなか、防災学習を進めました。
今後の活動予定	近年の豪雨などによる自然災害は、大規模化及び広域化しており、各地で甚大な被害が発生しております。このことから、児童が学んだことを保護者、地域住民に発信し、防災力向上を図ることが必要です。 過去に被災した経験を活かし、土砂災害、浸水被害から命を守り、被害の軽減に努めるよう、金栄校区がワンチームとなって、取り組みを進めていきます。



実践したプランの内容と成果 (実践したプランのだけ記入する内容です)

複数のプランを実践した場合にはプランの数だけ、ここから後の 5 つの表をコピーして記入してください

必要に応じてセル (表の枠) の高さを調整していただいて構いません

「★」は任意ですがそれ以外は極力埋めてください

記入日	西暦 2021 年 1 月 5 日 (20 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	11
タイトル 内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	過去の災害について
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	5,000 円未満
実践の準備にかかった時間 期間ではなく合計時間を書いてください 例：月に 1 度、1 時間程度 3 回集まった→3 時間→数時間 該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	数日
実践活動を実施した日時 長期に渡る実践の場合には「時」や「分」を適宜削除してください	西暦 2020 年 8 月 28 日 (金) 9 時 30 分～11 時 30 分
実践の所要時間 期間ではなく合計時間を書いてください。 例：2 時間×2 日＝4 時間	2 時間
実践の運営側で動いた人の人数	6 人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 該当しないものを削除し該当するものを残す (複数可)	小学 5 年生 (高学年)
防災教育の対象者の人数	63 人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県 新居浜市
実践を行った具体的な場所 例：〇〇小学校体育館	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市市民環境部 危機管理課職員 平成 16 年豪雨災害画像



達成目標 社会的・地域的・時代的背景や実践の目的や何を達成しようとしたかを書いてください	新居浜市内及び全国各地で発生した過去の自然災害について学び、自分たちの地域で自然災害が発生した際の命を守る大切さ並びに自助、共助の重要性を学ぶ。	
どの力を身につけようとしたか？ 該当しないものを削除し該当するものを1つ残す	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません	今日の授業の目的 ➢ 金栄校区、新居浜市の過去の災害内容を知る。 ➢ 金栄校区で災害が発生した場所を知る。 ➢ 金栄校区で発生する可能性がある災害を知る。 ➢ 金栄校区のハザードマップを見て、地域のことを知る。 平成16年の台風 1 金栄校区、新居浜市及び全国で発生した過去の自然災害を知る。 2 金栄校区で自然災害が発生した箇所及び発生する可能性がある箇所を知る。 3 金栄校区のハザードマップを見て地域の災害特性を知る。	
得られた成果 どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	1 平成16年豪雨災害以降に生まれた小学5年生が金栄校区で発生した豪雨災害について学び、被災体験を受け継ぐことができた。 2 近年の豪雨災害などの教訓から、土砂災害、浸水被害が発生する可能性を知り、自然災害などの発生時に迅速かつ的確に対応できるよう防災力の向上を図れた。	
どのくらい身につきましたか？ 該当しないものを削除し該当するものを残す	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	可能な限り、当時の画像を使用し、目で見えて学ぶことに努めた。	
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について 1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください		



関係者の名前・団体名	
関係者の説明	
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ

1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください

伝えたい相手	金栄校区地域住民
伝えたい内容	自助、共助の重要性

ここまで、実践したプランの数だけ記入する内容です

複数のプランを実践した場合には、ここまでの5つの表をコピーして記入してください



実践したプランの内容と成果 (実践したプランのだけ記入する内容です)

複数のプランを実践した場合にはプランの数だけ、ここから後の 5 つの表をコピーして記入してください

必要に応じてセル (表の枠) の高さを調整していただいて構いません

「★」は任意ですがそれ以外は極力埋めてください

記入日	西暦 2021 年 1 月 5 日 (20 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	11
タイトル 内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	防災力を高めよう
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	5,000 円未満
実践の準備にかかった時間 期間ではなく合計時間を書いてください 例：月に 1 度、1 時間程度 3 回集まった→3 時間→数時間 該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	数日
実践活動を実施した日時 長期に渡る実践の場合には「時」や「分」を適宜削除してください	西暦 2020 年 9 月 8 日 (火) 9 時 30 分～11 時 30 分
実践の所要時間 期間ではなく合計時間を書いてください。 例：2 時間×2 日＝4 時間	2 時間
実践の運営側で動いた人の人数	6 人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 該当しないものを削除し該当するものを残す (複数可)	小学 5 年生 (高学年)
防災教育の対象者の人数	約 63 人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県 新居浜市
実践を行った具体的な場所 例：〇〇小学校体育館	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市市民環境部 危機管理課職員 PC



達成目標 社会的・地域的・時代的背景や実践の目的や何を達成しようとしたかを書いてください	1 地域の危険箇所及び新居浜市で発生した平成 16 年豪雨災害の画像を活用して、地域の地理的特性を知る。 2 避難経路、避難所、災害用防災資機材などについて学び、学校における防災リーダーの役割を担えるように防災力を身に付ける。	
どの力を身につけようとしたか？ 該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません	今年度の防災教育の取り組み ▶ 金栄校区、新居浜市の過去の災害内容を知る。 ▶ 金栄校区で災害が発生した場所及び発生する可能性がある災害を知る。 ▶ 金栄校区の地図を見て、地域のことを知る。 ▶ 地域の人に命を守る大切さを発信する。 ▶ タイムラインを活用して自分の命は自分で守る。 1 今日からできることとして、防災に対するスイッチを入れ、防災に関心を持つ。 2 大雨などが降った際には水路があふれるなどして危険箇所となることを学ぶ。 3 土砂災害・浸水被害から身を守り、率先して家族及び地域住民とともに地域を守れるよう知識を習得する。	
得られた成果 どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	1 過去の災害から、自分の命は自分で守ることについて知識を習得することができた。 2 金栄校区内の危険箇所や過去の被災箇所を知り、地域の災害特性から災害発生時に命を守る大切さを学んだ。	
どのくらい身につきましたか？ 該当しないものを削除し該当するものを残す	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	平成 16 年豪雨災害などの被災画像を使用し、目で見て学ぶことに努めた。	



★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について

1 つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください

関係者の名前・団体名	
関係者の説明	
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ

1 つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください

伝えたい相手	金栄校区地域住民
伝えたい内容	平成 16 年豪雨災害の被災経験から地域の災害特性を伝える。

ここまで、実践したプランの数だけ記入する内容です

複数のプランを実践した場合には、ここまでの 5 つの表をコピーして記入してください



実践したプランの内容と成果 (実践したプランのだけ記入する内容です)

複数のプランを実践した場合にはプランの数だけ、ここから後の 5 つの表をコピーして記入してください

必要に応じてセル(表の枠)の高さを調整していただいて構いません

「★」は任意ですがそれ以外は極力埋めてください

記入日	西暦 2021 年 1 月 5 日 (20 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	11
タイトル 内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	防災タイムラインについて
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	5,000 円未満
実践の準備にかかった時間 期間ではなく合計時間を書いてください 例: 月に 1 度, 1 時間程度 3 回集まった→3 時間→数時間 該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	数日
実践活動を実施した日時 長期に渡る実践の場合には「時」や「分」を適宜削除してください	西暦 2020 年 9 月 15 日 (火) 9 時 30 分～11 時 30 分
実践の所要時間 期間ではなく合計時間を書いてください。 例: 2 時間×2 日 = 4 時間	2 時間
実践の運営側で動いた人の人数	6 人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 該当しないものを削除し該当するものを残す (複数可)	小学 5 年生 (高学年)
防災教育の対象者の人数	約 63 人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県 新居浜市
実践を行った具体的な場所 例: ○○小学校体育館	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市市民環境部 危機管理課職員 PC



達成目標 社会的・地域的・時代的背景や実践の目的や何を達成しようとしたかを書いてください	1 令和元年度に作成した金栄小学校災害タイムラインの時系列に基づき、防災行動を学び、各自のタイムラインを考える。 2 実災害発生時に、タイムラインに基づく防災行動を取ることができるか今後検証する。		
どの力を身につけようとしたか？ 該当しないものを削除し該当するものを1つ残す	知識・技能		大いに
	思考力・判断力・表現力		大いに
	学びに向かう力・人間性		大いに
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません	  - 避難行動を判断する時に有効な情報として今後の天気を確認する。 - 避難を開始するまでに準備・考えておくことを話し合う。 - 有事の際に備え、防災グッズの準備、防災マップから情報を得る。 - 避難行動を判断する際の気象情報の入手方法及び避難行動を判断する際の有効な情報について学ぶ。		
得られた成果 どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	- 台風が発生してから災害が発生し、河川が氾濫するまで時系列に沿って知識の習得ができた。 3日前から河川が氾濫するまでの主な備えについて、個人及び家族が身を守る行動について学ぶことができた。		
どのくらい身につきましたか？ 該当しないものを削除し該当するものを残す	知識・技能		大いに
	思考力・判断力・表現力		大いに
	学びに向かう力・人間性		大いに
課題・苦労・工夫 やっててわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	始めて見聞きする防災タイムラインの重要性、事前に行っておくべき備えについて理解することに苦労した。		



★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について

1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください

関係者の名前・団体名	
関係者の説明	
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ

1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください

伝えたい相手	金栄校区地域住民
伝えたい内容	金栄小学校災害タイムラインを幅広く伝える。

ここまで、実践したプランの数だけ記入する内容です

複数のプランを実践した場合には、ここまでの5つの表をコピーして記入してください



実践したプランの内容と成果 (実践したプランのだけ記入する内容です)

複数のプランを実践した場合にはプランの数だけ、ここから後の 5 つの表をコピーして記入してください

必要に応じてセル(表の枠)の高さを調整していただいて構いません

「★」は任意ですがそれ以外は極力埋めてください

記入日	西暦 2021 年 1 月 5 日 (20 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	11
タイトル 内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	防災マップについて
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	5,000 円未満
実践の準備にかかった時間 期間ではなく合計時間を書いてください 例：月に 1 度、1 時間程度 3 回集まった→3 時間→数時間 該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	数日
実践活動を実施した日時 長期に渡る実践の場合には「時」や「分」を適宜削除してください	西暦 2020 年 10 月 9 日 (金) 13 時 30 分～15 時 30 分
実践の所要時間 期間ではなく合計時間を書いてください。 例：2 時間×2 日＝4 時間	2 時間
実践の運営側で動いた人の人数	4 人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 該当しないものを削除し該当するものを残す (複数可)	小学生 5 年生 (高学年)
防災教育の対象者の人数	約 63 人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県 新居浜市
実践を行った具体的な場所 例：〇〇小学校体育館	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市市民環境部 危機管理課職員 PC



達成目標 社会的・地域的・時代的背景や実践の目的や何を達成しようとしたかを書いてください	1 まちあるきの実施に向けて、新居浜市防災マップを活用して、凡例に基づき地域内の危険箇所などを調べる。 2 金栄校区の白地図を活用して、グループごとに地域の地理的特性など地図に記載し、金栄校区の特色を知る。	
どの力を身につけようとしたか？ 該当しないものを削除し該当するものを1つ残す	知識・技能 思考力・判断力・表現力 学びに向かう力・人間性	大いに 大いに 大いに
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません	まち歩きに向けて ➢金栄校区で過去の災害内容や発生した場所を歩いてみよう。 ➢地域の方に過去の災害について聞いてみよう。 ➢金栄校区で災害が発生する可能性がある場所を調べてみよう。 地域の様子をマジックで地図にマーキングしよう ➢平時に役立つ施設 【緑●】 市役所、消防署、分団詰所、警察署、交番、病院、公民館、自治会館、社会福祉施設、その他公共施設など ➢災害(平常)時役立つ施設など 【青●】 避難所、防災倉庫、重機、消火栓、防火水槽、コンビニ、スーパー、ドラッグストアなど ➢危険物施設、危険箇所 【赤●】 危険物施設、毒劇物等取扱施設など 1 まちあるきに向けて、過去の被災内容や被災箇所を事前に調べる。 2 被災者の方から平成 16 年豪雨災害による被災体験を聞き取りするために事前にグループで協議を行う。 3 災害時に土砂災害及び浸水被害などの可能性がある箇所について、金栄校区防災マップを活用して予備知識を持つ。	
得られた成果 どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	1 金栄校区防災マップから、地域特性をグループで共有することができた。 2 安全な避難経路、避難所、災害時に役に立つ場所など、災害に関連した地域特性を学んだ。	
どのくらい身につきましたか？ 該当しないものを削除し該当するものを残す	知識・技能 思考力・判断力・表現力 学びに向かう力・人間性	大いに 大いに 大いに
課題・苦労・工夫 やって見てわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	防災マップの凡例から避難所となる施設、河川越水による浸水域、土砂災害警戒区域などについて知識の習得を行った。	



★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について

1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください

関係者の名前・団体名	
関係者の説明	
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ

1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください

伝えたい相手	金栄校区地域住民
伝えたい内容	土砂災害・浸水被害から身を守る大切さを知る。

ここまで、実践したプランの数だけ記入する内容です

複数のプランを実践した場合には、ここまでの5つの表をコピーして記入してください

実践したプランの内容と成果 (実践したプランのだけ記入する内容です)

複数のプランを実践した場合にはプランの数だけ、ここから後の 5 つの表をコピーして記入してください

必要に応じてセル(表の枠)の高さを調整していただいて構いません

「★」は任意ですがそれ以外は極力埋めてください

記入日	西暦 2021 年 1 月 5 日 (20 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	11
タイトル 内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	防災まちあるき
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	5,000 円未満
実践の準備にかかった時間 期間ではなく合計時間を書いてください 例：月に 1 度、1 時間程度 3 回集まった→3 時間→数時間 該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	数日
実践活動を実施した日時 長期に渡る実践の場合には「時」や「分」を適宜削除してください	西暦 2020 年 10 月 15 日 (木) 9 時 00 分～12 時 00 分
実践の所要時間 期間ではなく合計時間を書いてください。 例：2 時間×2 日＝4 時間	3 時間
実践の運営側で動いた人の人数	30 人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 該当しないものを削除し該当するものを残す (複数可)	小学 5 年生 (高学年)
防災教育の対象者の人数	約 100 人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県 新居浜市
実践を行った具体的な場所 例：〇〇小学校体育館	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市市民環境部 危機管理課職員 金栄校区自治会・金栄公民館・社会福祉協議会・民生委員



達成目標 社会的・地域的・時代的背景や実践の目的や何を達成しようとしたかを書いてください	1 防災まちあるきを各自治会単位のグループで、被災箇所、危険箇所、災害時有効な施設及び場所などを調査する。 2 平成 16 年豪雨災害にて被災した地域住民から、当時の状況について話を聞き、取りまとめ資料に反映する。	
どの力を身につけようとしたか？ 該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません	  1 防災まちあるきを実施して、過去の災害内容や発生した箇所及び災害時に有効となる施設等を調査する。 2 防災マップ作製時の基礎資料として、平成 16 年豪雨災害の被災者から被災体験の聞き取りを行う。 3 地域の住民と防災まちあるきを行うことにより、平時から顔の見える関係づくりを行う。	
得られた成果 どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	1 安全な避難経路、避難所、平成16年被災箇所、災害時に有効な場所など災害に関連した地域特性を学んだ。 2 地域内の道路などや土地の傾斜から、地域に潜む災害特性を実際に自分たちの目で確認し、浸水方向などを確認することができた。	
どのくらい身につきましたか？ 該当しないものを削除し該当するものを残す	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫 やって見てわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	防災まちあるきに同行する地域住民と事前打ち合わせを行い、平成 16 年豪雨災害時の被災状況など、具体的な話など被災後の大変さを伝えていただいた。	



★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について

1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください

関係者の名前・団体名	金栄校区自治会・金栄公民館・社会福祉協議会
関係者の説明	
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ

1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください

伝えたい相手	金栄校区地域住民
伝えたい内容	地域内の危険箇所などの存在を知り、身を守る大切さを知る。

ここまで、実践したプランの数だけ記入する内容です

複数のプランを実践した場合には、ここまでの5つの表をコピーして記入してください

実践したプランの内容と成果 (実践したプランのだけ記入する内容です)

複数のプランを実践した場合にはプランの数だけ、ここから後の 5 つの表をコピーして記入してください

必要に応じてセル(表の枠)の高さを調整していただいて構いません

「★」は任意ですがそれ以外は極力埋めてください

記入日	西暦 2021 年 1 月 5 日 (20 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	11
タイトル 内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	防災まちあるき結果整理・防災マップ作製 地域防災新聞作成・防災学習発表会準備
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	5,000 円未満
実践の準備にかかった時間 期間ではなく合計時間を書いてください 例：月に 1 度、1 時間程度 3 回集まった→3 時間→数時間 該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	数日
実践活動を実施した日時 長期に渡る実践の場合には「時」や「分」を適宜削除してください	10 月 23 日、11 月 12 日・26 日、12 月 15 日・18 日 2021 年 1 月 12 日・15 日・(予定) 29 日
実践の所要時間 期間ではなく合計時間を書いてください。 例：2 時間×2 日＝4 時間	20 時間
実践の運営側で動いた人の人数	6 人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 該当しないものを削除し該当するものを残す (複数可)	小学 5 年生 (高学年)
防災教育の対象者の人数	約 63 人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県 新居浜市
実践を行った具体的な場所 例：〇〇小学校体育館	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市市民環境部 危機管理課職員 PC



達成目標 社会的・地域的・時代的背景や実践の目的や何を達成しようとしたかを書いてください	1 防災まちあるきで調査した結果を取りまとめ、防災マップ及び地域防災新聞の作製に取組み、自治会回覧を通じて情報共有を図る。 2 参観日で1年間の防災学習で学んだことを発表し、地域ごとの災害特性について情報共有を行う。	
どの力を身につけようとしたか？ <u>該当しないものを削除し該当するものを1つ残す</u>	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません	  1 防災まちあるきにて調査した結果を、画像及びまちあるきで感じたコメントなどを防災マップに反映した。 2 防災学習及び防災まちあるきから身につけた知識などから地域防災新聞を作成し、今後自治会回覧にて情報共有を図る。 3 参観日を活用して、1年間の防災教育の取り組みを発表するため、発表準備を行う。	
得られた成果 どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	1 1年間を通じて、過去の災害や金栄校区の災害特性である土砂災害・浸水被害から命を守る重要性を学ぶことができた。 2 コロナ禍で地域住民が集うことが不可能な状況の中、地域防災新聞を作成及び回覧し、地域防災力の向上を図ることができる。	
どのくらい身につきましたか？ <u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u>	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫 やって見てわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	1 初めて作成する地域防災新聞をより見やすく、内容を伝えやすくすることに工夫した。 2 コロナ禍の中、例年同様の取り組みができない中、学校と調整を図り、実施可能な取り組みを感染防止に努めながら実施した。	



★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について 1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください	
関係者の名前・団体名	金栄校区自治会・公民館・社会福祉協議会・
関係者の説明	
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ 1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください	
伝えたい相手	金栄校区地域住民
伝えたい内容	土砂災害・浸水被害から命を守り、過去の被災経験を後世に伝える。

ここまで、実践したプランの数だけ記入する内容です

複数のプランを実践した場合には、ここまでの5つの表をコピーして記入してください

フォームへのご意見 (1団体あたり1回だけ記入する内容です)

★このフォームは書きやすかったですか？ わかりにくいところ、改善すべき点などあれば教えてください	最終報告書については、使用しやすかった。
---	----------------------